日本物流開発 土浦新センター 完成

日本物流開発（東京都板橋区、川底宏至社長）による物流施設「土浦新センター」が完成した。同社が進めるEC物流事業拡大の重要拠点であり、中小規模のECサイト運営企業に対して付加価値の高い流通加工等を含む物流代行を進める。設計、施工をJFEシビルが担当した。

EC物流事業拡大の重要拠点

日本物流開発株式会社
代表取締役社長
川底　宏至

マザーセンターにふさわしいサービスを

この度、茨城県土浦市におきまして弊社土浦新センターが完成の運びとなりました。これもひとえに本計画にご理解を賜り、ご尽力をいただきました全ての関係者の皆様、地域の皆様のご協力によるものと、厚く感謝申し上げます。

完成いたしました土浦新センターは、常磐自動車道土浦北インターまで約５分という好立地に恵まれ、北関東自動車道や首都圏中央連絡自動車道などとのネットワークで広域にわたる物流サービスを提供いたします。当該施設は土浦市初の物流総合効率化法認定を受けた特定流通業務施設として、環境に対応した設備に加え、県内既存センターの集約により、大気汚染物質の排出削減も実現いたします。

弊社は1990年の設立間もなくより土浦市にて拠点運営実績があり、短納期、フレキシブルな流通加工力、システム設計力を強みとしてＥＣ事業者様ほか多数の荷主様に物流業務を提供させていただいております。また、2020年よりＡＺ－ＣＯＭ丸和ホールディングスグループの一員として、より総合的な機能強化を果たし、お客様と社会に貢献する為の事業拡大を図っております。

この新センターは弊社にて数年の構想を経た念願の施設であり、今後「お客様の成長をロジスティクスの力でお手伝いする」というビジョンを実現させるべく、一層のケイパビリティに加え、ＩｏＴ・ロボティクス設備を積極的に導入し、弊社マザーセンターにふさわしいサービスを稼動して参ります。

設計コンセプト

敷地内動線と荷捌き作業性を考慮

本施設は茨城県の県南地域にあって土浦北ＩＣより1キロ、ＪＲ土浦駅より6キロ、西に筑波山を望む市街化調整区域の立地に、土浦市初の物流総合効率化法の適用を受けて計画された物流施設です。

構造規模はＳ造2階建て。将来的な入出庫の増加にも対応可能な22台分のバースと6台分のトラック待機場を備え、延べ床面積1万8741・63平方㍍の建屋は2階部分に温度管理エリアが設けられ、化粧品等の品質保持を可能とする機能を有しています。

計画にあたっては、敷地内のフレキシビリティと荷捌きの作業性に考慮したアウター式高床バースを採用。また、屋根全面に太陽光発電設備を設置可能とする構造強度と電気室内の機器設置スペースを見込み、外構空間には敷地内雨水の全浸透を可能とする雨水浸透層を設ける等、周辺環境に配慮したものとしています。

外観デザインはコーポレートカラーであるネイビーブルーとピンクを外壁金属サイディングと大庇先端に取り入れ、外壁看板と共にアイキャッチ機能を保有した色彩計画としています。エントランスは壁に大理石、床に御影石を用いた自社倉庫ならではの高級感且つ重厚感のある意匠としつつ、床の貼り分けや天井にストライプを取り入れることにより正面サイン壁に向かって流れを作り出し、物流施設にふさわしい動きのある空間としました。

ＪＦＥシビル株式会社　物流建築事業部　設計部　井草　貴浩

エントランスホール

トラックバース

施工のポイント

鉄骨建て方、床打設の高品質実現

建設地は土浦市北西部の住工混在市街地で、敷地北側は国道125号に面した交通量の多いエリア。西側には架空線が走っており、揚重機作業に細心の注意を払った。

「警告レベルのラインにワイヤーを張り、危険安全の境界線を可視化することで重機作業時にわかりやすくしました。国道側はもともと工場も多く大型車の往来がある地域なので、搬入時間帯の調整を綿密に行いました」。工事を担当した大川哲志所長は、地盤も水はけも良好な敷地で施工自体はスムーズに進められたと述べる。ただこの施工時期には首都圏各所で同様の物流施設建設ラッシュが続いており、生コンの調達に困難を極める現場が多く存在した。

「当工事も決して油断できない状況でした。プラントへの発注は素早い判断が求められ、打設を小ロット化させ回数の分散を図り、打設面積を小さくしながら仕上がりまでの時間を短くしました。その上で高精度と高品質を維持しています」

機械設備や照明、空調などの高騰や不足も取り沙汰されていたが、これらは着工前から納品時期の打ち合わせを進めており、全体的に順調に引き渡しを迎えられた。

大川所長は「作業員不足も重なる時期でしたが、工程についてお施主様のご理解をいただけ、また協力企業が皆熱心に作業従事してくれました。あらためて全ての関係者に感謝申し上げます」と工事を振り返る。

倉庫フロア

工事概要

■工　事　名：日本物流開発土浦営業所新築工事
■建　設　地：茨城県土浦市上坂田浦山1458番１外12筆
■発　注　者：日本物流開発株式会社
■設計・監理：ＪＦＥシビル株式会社一級建築士事務所
■施　工　者：ＪＦＥシビル株式会社
■敷 地 面 積：16,344㎡
■構造・規模：Ｓ造２階建て。建築面積9,924.18㎡、延床面積18,741.63㎡
■工　　期：2022年６月～2023年５月

設計・施工

JFE シビル 株式会社
東京都台東区蔵前 2-17-4
電話 03(3864)3670

▶ デッキ床版・スタッド工事
株式会社 アイ・イー・シー
東京都台東区柳橋1-3-11 4F　電話 03(5835)2324

▶ 鉄筋工事
株式会社 アイコー
東京都中央区日本橋小伝馬町15-18　電話 03(6661)7951

▶ コンクリート・鉄筋圧接部検査
阿部興産 株式会社
茨城県取手市米ノ井7-1　電話 0297(70)2671

▶ 荷物用エレベーター工事
イーケーエレベータ 株式会社
群馬県高崎市箕郷町上芝688　電話 027(371)7000

▶ ファブデッキ工事
伊藤忠丸紅住商テクノスチール 株式会社
東京都千代田区大手町1-6-1　電話 03(6266)8231

▶ 外構工事
鹿島道路 株式会社 関東支店
さいたま市浦和区高砂4-6-9　電話 048(872)8001

▶ オーバードアー工事
金剛産業 株式会社
東京都中央区晴海1-8-12　電話 03(3534)1824

電気設備工事
日本電設工業株式会社
東京都台東区池之端 1-2-23　電話 03(3822)8811

▶ シャッター・鋼製建具・間仕切工事
三和シヤッター工業 株式会社
東京都豊島区東池袋4-5-2 10F　電話 03(4333)0888

▶ 金属工事
有限会社 シーナ
横浜市神奈川区松見町3-914-4　電話 045(423)2345

▶ 石工事
株式会社 ジャストン東京
東京都新宿区四谷三栄町11-19-409　電話 03(5369)8971

▶ 内装仕上工事
杉山産業 株式会社
川崎市川崎区貝塚1-15-3　電話 044(222)2696

▶ 鳶・土工事
関根建設 株式会社
東京都豊島区東池袋2-11-11　電話 03(3984)6892

▶ 鉄骨検査工事
株式会社 ディーアイジェクト
川崎市川崎区旭町2-18-6　電話 044(200)7286

▶ 金属屋根・外壁板金工事
株式会社 テクノルーフ
千葉市中央区生実町1168-1　電話 043(312)3626

▶ 型枠工事
株式会社 東京朝日ビルド
埼玉県草加市稲荷1-1-1　電話 048(924)3595

機械設備工事
SEKISHO GROUP 関彰エンジニアリング株式会社
茨城県つくば市東新井 12-2　電話 029(858)7311

▶ 植栽工事
東武緑地 株式会社
東京都墨田区向島1-26-5　電話 03(3626)2800

▶ 浸透性防水工事
日本躯体処理 株式会社
埼玉県川口市道合262-1　電話 048(229)7222

▶ 塗装工事
原田塗建 株式会社
埼玉県加須市南大桑3471-17　電話 0480(65)6688

▶ 鉄骨工事
阪和興業 株式会社
東京都中央区築地1-13-1　電話 03(3544)2961

▶ 垂直搬送機設備工事
不二輸送機工業 株式会社
東京都千代田区神田佐久間町4-22-1　電話 03(3863)8231

▶ サイン工事
株式会社 プラスパ
川崎市川崎区大島1-7-5　電話 044(210)4567

▶ 硝子工事・ガードボール工事
株式会社 三好商会
横浜市西区北幸2-8-4　電話 045(328)3450

▶ 生コンクリート
三谷商事 株式会社 茨城営業所
茨城県つくば市房内字原山428-1　電話 029(876)7055

▶ 杭工事
三谷セキサン 株式会社
東京都台東区柳橋2-19-6　電話 03(5821)1122

▶ 左官・土間工事
モノリスコーポレーション 株式会社
相模原市中央区淵野辺3-10-5　電話 042(851)4077

【順不同】